

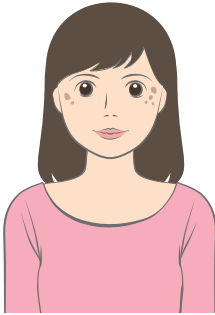
シミの中で最も多い老人性色素班、目立って気になる…

レーザー治療が可能です

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com

老人性色素斑



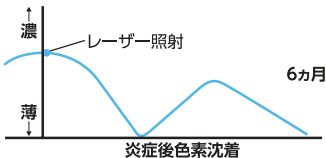
「夏の日焼け痕がとれてホッとしていたら、顔のシミが目立つようになった」…そんな気になるシミの解消法について、立川皮膚科クリニックの伊東秀記院長（日本皮膚学会認定皮膚科専門医）に、聞きました。

「一般的にシミと呼ばれるものの大部分は、老人性色素班（ろうじんせいしきそはん）。紫外線（しきそはん）。メラニン細胞が活発になり色素が過剰に作られますが、レーザー照射での治療が可能です。当院では、自加齢などで皮膚の再生サイクルの力が落ちていると、色素が沈着してしまいうというものです。粉らわしいのが雀卵斑（じゃくらんはん）、いわゆるそばかすで、子どものころから顔や腕、肩などに散らばるように小さな薄茶色の斑点が出ます」

「目立たなくするにはどうしたらいい？」

「美白ケア、セルフェアにはさまざまな成分が、気になるシミは科専門医に相談を」

「レーザー照射後は、一時的に濃くなったように見えますが、しばらくすれば薄くなります」



レーザー照射後、一時的に濃くなったように見えますが、しばらくすれば薄くなります

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2024年12月27日付「リビング多摩」に掲載されました

問い合わせ
TEL042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分